

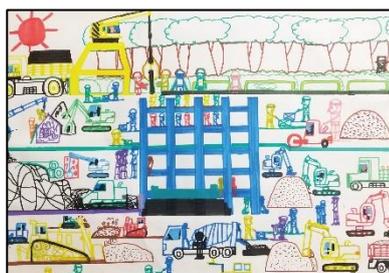
建設現場のイメージアップと共生社会の推進

建設現場の仮囲いに障がい者アートを掲出しました

京急建設が横浜市から受注した「令和3年度高架橋 RC 柱補強工事」の建設現場の仮囲いにデジタルサイネージを設置し、工事情報と合わせて障がい者アートの掲出を2021年9月24日（金）からおこなっていました。

通常建設現場は、無機質で殺風景な暗いイメージがあり、今回の現場は人通りの多い横浜市営地下鉄新羽駅改札正面にデジタルサイネージを設置し、工事情報と合わせて現場職員が選定した障がい者アートを掲出することで、建設現場のイメージアップを図りました。

今後も京急建設は建設業事業者として、公共交通機関や都市空間のバリアフリー化等に積極的に貢献してまいります。



障がい者アート作品（5点）